

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】令和5年3月28日(2023.3.28)

【公開番号】特開2022-130111(P2022-130111A)
 【公開日】令和4年9月6日(2022.9.6)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-164
 【出願番号】特願2021-29092(P2021-29092)
 【国際特許分類】

G 0 5 G 1 / 3 8 (2 0 0 8 . 0 4)
 B 6 0 T 7 / 0 6 (2 0 0 6 . 0 1)
 B 6 0 T 7 / 0 2 (2 0 0 6 . 0 1)
 G 0 5 G 1 / 3 0 (2 0 0 8 . 0 4)
 G 0 5 G 5 / 0 4 (2 0 0 6 . 0 1)
 B 6 0 T 8 / 1 7 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

G 0 5 G 1 / 3 8
 B 6 0 T 7 / 0 6 B
 B 6 0 T 7 / 0 2 D
 G 0 5 G 1 / 3 0 E
 G 0 5 G 5 / 0 4 B
 B 6 0 T 8 / 1 7 B

20

【手続補正書】

【提出日】令和5年3月17日(2023.3.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【請求項1】

運転者によるペダル操作量に応じた電気信号を車両の電子制御装置に送信するオルガン式のペダル装置において、

車体に取り付けられるハウジング(10)と、

前記ハウジングに設けられたシャフト受部(13)の中心を回転軸(CL)として回転可能に支持されるシャフト(30)と、

前記シャフトに固定されて前記シャフトと同一の前記回転軸周りに回転動作するペダルパッド(40)であって、前記ペダルパッドのうち前記運転者に踏まれる部位(41)が前記回転軸に対して車両搭載時の天地方向における上方に配置される前記ペダルパッドと

40

、
 前記シャフトに設けられる回動部(51)、および前記ハウジングに設けられて前記回動部の位相に応じた信号を出力する信号出力部(55)を有し、前記ペダルパッドおよび前記シャフトの回転角度を検出するセンサユニット(50)と、を備え、
前記シャフトと前記ペダルパッドとは、同一の前記回転軸を中心として回転する構成となっているペダル装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

【請求項 2】

前記ハウジングのうち前記ペダルパッドとは反対側の面に設けられ、前記車体に固定されるベースプレート(20)をさらに備え、
前記ベースプレートは、前記ハウジングに比べて強度の高い材料により構成されている請求項 1 に記載のペダル装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

10

【0008】

上記目的を達成するため、請求項 1 に係る発明は、運転者によるペダル操作量に応じた電気信号を車両の電子制御装置に送信するオルガン式のペダル装置において、ハウジング(10)、シャフト(30)、ペダルパッド(40)およびセンサユニット(50)を備える。ハウジングは、車体に取り付けられる。シャフトは、ハウジングに設けられたシャフト受部(13)の中心を回転軸(CL)として回転可能に支持される。ペダルパッドは、シャフトに固定されてシャフトと同一の回転軸周りに回転動作する。また、ペダルパッドは、運転者に踏まれる部位(41)が回転軸に対して車両搭載時の天地方向における上方に配置される構成である。センサユニットは、シャフトに設けられる回動部(51)、およびハウジングに設けられて回動部の位相に応じた信号を出力する信号出力部(55)を有し、ペダルパッドおよびシャフトの回転角度を検出する。そして、シャフトとペダルパッドとは、同一の前記回転軸を中心として回転する構成となっている。

20

30

40

50